

Job Café?

1

—世界のキャリアセンター見学ツアー—



株式会社リクルート ワークス研究所

Job Café ?

①



Menu

—世界のキャリアセンター見学ツアー—

01. ハローワークの実験室?	2
New Deal Working Links	
02. マッチングのスーパースター、ここにあり!	6
New Deal REED	
03. 最近、おしゃれになりました	7
Job Center Plus	
04. これ、なんだかわかりますか?	8
Kiosk	
05. 事件は現場で起きている?	9
Mobile	
06. ガイドツアー付きです	10
One Stop Career Center	
07. 若者は若者同士!	13
Youth One Stop Career Center	
Plus お気に入りのしごとを探せ!	14
Job Shadowing	

—Job Café? のつくり方 どこまでできるか、理想のカフェづくり

つくり方のコツ	15
こんなカフェはいかがですか?	16
バーチャルカフェ Case 1 <Design>	
<Scene>	
バーチャルカフェ Case 2 <Place>	

世界のキャリアセンター見学ツアー



こんなキャリアセンターがあるのを知らなかった。

欧米の失業率は日本に比べて総じて高く、なかでも若年失業者の増加には各国とも頭を痛めてきた。特定の失業者を集中的に支援したり、あらゆる援助をワンストップで提供しようという考え方は、このなかから生まれてきたものだ。自治体や民間企業を活用しようとするのも、従来の公共サービスだけでは手に負えないことを痛感したからに他ならない。そして、それらの現場を実際に見てみると、随所に創意工夫が凝らされていることがわかる。

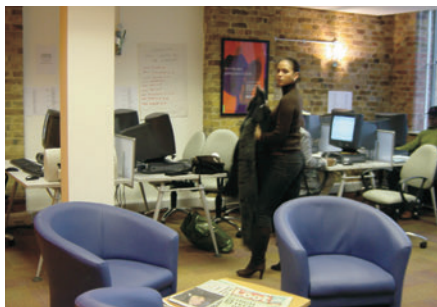
自治体や民間企業が設置したキャリアセンターは、どちらかというと手作りバラバラだ。もともと、無味乾燥、治安が悪い、汚い、怖い、冷たいなどと揶揄される公共職業紹介所に比べて、手作りの温かみがあり、対応も親切であるように感じる。そこでは、失業者にとって何が必要とされているのかを多面的に考え、知恵を絞り、あらゆる手立てが講じられている。

自分にふさわしい働き方や職業は何だろうか。こうした失業者一人ひとりの特性を理解して、処方箋を書き、仕事に就くまで支援するスタッフたち。そのプロセスはさながらクリニックのようでもある。健康を回復して、ちよっぴり自信が持てるようになった人を社会という大きな舞台に送り出す。そんな舞台裏を垣間見ることができた。百聞は一見に如かず。アニマルレポートでは窺い知ることのできない事実だ。

現実にきちんと向き合うことを尊重する姿勢、居心地のいい空間、ホスピタリティあふれる対応―これほどまでに効果をあげるのとは何か、失業者をいきいきさせるのはなぜなのか、そのエッセンスを紹介したい。

01.ハローワークの実験室？

New Deal / Employment Zone Working Links



Welcome！友人を迎えるように温かく迎えてくれる

ロンドン市街のシティ近郊にあるワーキングリンクス。同社は、イギリスの公共職業紹介所「ジョブセンター」と民間会社二社との合併会社だ。ジョブセンターで六カ月（二十五歳以上は十八カ月）の期間内に仕事に就くことができなかつた場合、このオフィスを紹介される。

入口のドアを開け階段を上ると、ライトアップされた受付カウンターや、ポップなBGM、とても温かい雰囲気、一瞬、目を疑ってしまう。求職者には専属のカウンセラーが付き、ニューディールの契約にサインをする。一人ひとりの実情に応じて処方箋が作成される。たとえば、バイク便の仕事を始めたい求職者には、免許を取得させ、中古のバイクを買い与える。電話を持っていない求職者には企業との連絡用に携帯電話を貸与する。衣料品店と契約し、面接用のスーツをコーディネートする。通勤用のスクーターを貸し出す。このようにして仕事に就くための障害を取り除いていく。

人材紹介会社の元従業員を採用し、様々な手段を活用して求人開拓にも力を入れている。求職者が自分の力で仕事を見つけたときには百五十ポンドのボーナスも支給される。

ロンドン地区のディレクターであるイアン・スミス氏は「ここは、公共職業紹介の実験室だ」という。ワーキングリンクスの勢いは止まらず、効果のあるアイデアを武器に次々に入札を勝ち取り、対象地区を拡大している。現在受託しているのは十一地区。拠点は四十カ所。受託額は年間で約五千万ポンドに達する。就職成功率は約四十五％と、ジョブセンターの二倍である。

ニューディールプログラムの対象者は全体で百万人。若年向けプログラムでは二〇〇三年十二月末までに四十七万九千六百六十人が就業することに成功したことで注目されており、ワーキングリンクスの貢献は大きい。



専属の担当者が自分のために求人開拓をしてくれる

ブレント地区にあるのは、かつて民家だった住宅を改装したオフィスだ。ここもいわゆる普通のオフィスをめぐるはず。玄関のチャイムを鳴らすと「WELCOME!」とまるで友人の家に来たような歓迎である。ここでは求職者は「カスタマー」。お客様である。スタッフは新聞で公募し採用された専門家たちである。以前はジョブセンターに勤務していた、こちらへ異動してきたスタッフも数名いる。

ロフトでは、会計やITなど専門の担当者が相談にのる。別の部屋では、明るい色のソファに腰掛けながらのカウンセリング。自分で履歴書が作れない求職者にはカウンセラーがヒアリングしながらパソコンで作成する。

「求職者にジョブセンターとここは全く違う場所だと感じてもらうには、視覚効果も大事だ」という。短い期間で就職してもらうためには過去のキャリアを活かせる仕事を探す。大幅な職種転換・キャリアチェンジはしていない。顕在化している求人だけでなく、潜在化しているいわば隠れた求人を見つけ出す。ひとりの求職者のために、電話帳を見て一社、また一社と求人があるかどうか電話をかけることもしばしばだ。周辺地域の状況を考慮して、新しい仕事を企画することもある。近く、シングルマザーのための託児施設も開設する予定。

ニューデールは、成功報酬制を用いたプログラムだ。就職するまでの各プロセスと、就職後は十三週間定着することで政府から受託者に報酬が支払われる。長期間にわたって失業手当や生活保護に依存する失業者をいかに仕事に就かせるか、受託者が知恵を絞っている。

また、政府は効果測定のための調査や分析を行い、条件の見直しなどに反映している。



1



3



2



4

1 カウンセリングをする部屋はいくつかあるが、窓からの採光や木の温もり、カラフルなソファなどで緊張がほぐれる。求職者の属性に合うようなカウンセラーを選ぶ。カウンセラーひとりを受け持つ求職者はおおよそ四十名。求職者ひとりに投資する予算は十万円プラスアルファ。無事に就職できればよいが、就職できなければワーキングリンクスの持ち出しとなる。

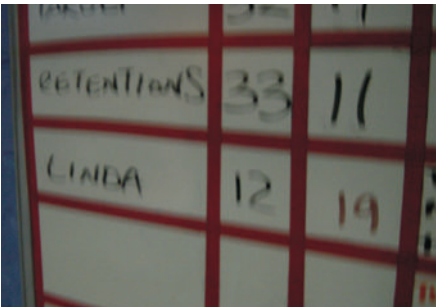
2 飲食店やホテルのカウンターのように見えるが、求職者用の受付である。ここでカスタマーをお迎える。

3 求職者が最初にワーキングリンクスを訪れた際に渡されるバッグ。ロゴなどは入っていないため、普通のバッグと変わらない。割とお洒落なバッグだ。この中には求職活動グッズが入っていた。コーポレートカラーであるオレンジ色のスケジュール帳とボールペン。次回の予約や面接の日時などを書き込むなど、求職活動のスケジュールが立てられる。他にも、職務経歴用の上質紙と便箋、封筒、切手、メモ帳が入っていた。細やかな心遣いがウリだ。

4 移民など英語が不自由な求職者のために、オフィスとは別に「就職するための英会話教室」を開設した。たとえば、飲食店で働くときに必要な台詞や店内で交わされる会話を集中的に学ばせる。教室では講師と数名のアシスタントが室内を回りながらプログラムを進めていた。二十名程度の求職者が楽しそうに参加している様子が印象的。この教室から巣立っていった求職者の名前と就職先が書かれたボードが参加者を勇気づける。

02.マッチングのスーパースター、ここにあり!

Employment Zone REED in Partnership



目標管理システムを導入し、個人やチームで競わせる

四地区のエンプロイメントゾーンを運営しているリードインパートナーシップは、創業四十五年になる人材紹介・派遣会社リードの子会社である。同社の強みは、雇用主となる企業をよく知っていること。これまでに築いた顧客とのつながりやノウハウが貴重な財産であるという。潜在的な求人ニーズの掘り起こしと適切な人材のマッチングは、このような実績を持っていることではじめて可能になる。

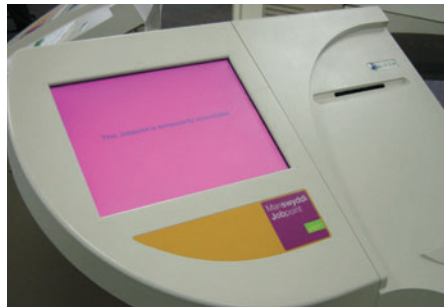
ロンドン東部のニューハムにあるオフィスは、地下鉄駅前の目立つ場所にある。駅の周辺には派遣会社やジョブセンターとコーヒースペース。息抜きのためにゲームを置くなどリラクゼーションできる雰囲気を醸しだしている。内装は黄色と青とオレンジで配色している。スタッフはスーツに水玉のネクタイや水玉のスカーフもしくは、お揃いのブルーのフリースを着ており、いかにも気さくな感じ。

成功の要因は、多種多様な求職者（同社ではメンバーと呼ぶ）に対応したパーソナルアドバイザーによるマンツーマンのサポートと、目標管理を徹底していることであろう。オフィスの壁に貼られたホワイトボードには、パーソナルアドバイザーの名前と担当するメンバー数、就業決定数が記入され、個人やチームごとにその成果を競い合っている。

最優秀賞（STAR）のリンダは過去二年間で四百五十名の就職を斡旋した。彼女が常にトップを維持しているのは地元企業とコミットしているからだ。毎日誰よりも早く出社し、顧客の営業時間に合わせて夜遅くまで働く。メンバーに幸せになって欲しいと願う気持ちは誰よりも強い。

03.最近、おしゃれになりました

Tottenham JobCentre



ジョブセンターと人材紹介会社の橋渡し役、リエゾンマネジャー

ロンドンの中心部から北へ電車で二十分の距離にあるトッテナムは、閑静な住宅街もあるが、多くは低所得者の住む地域だ。治安もいいとはいえないだろう。イギリスでは、ジョブセンターのリニューアルが進んでいて、ジョブセンタープラスへと模様替えしたところも目につく。ここトッテナムのジョブセンターは概観こそ従来のままだが、求人情報を検索する端末がスタイリッシュなタッチパネル式のものに変わっていた。

ここでは、ジョブセンターのなかに、この地区のニューディールの担い手であるリードインパートナーシップ社(前出)の窓口が設置されている。四年前から、若年者をジョブセンターが担当し、二十五歳以上の長期失業者をリードが受け持つ。ジョブセンターは対象者をコンピュータでリストアップし、一角にあるリードのカウンターへ行くように伝える。そこでリエゾンマネジャーが十分ほどの面接を行い、別の場所にあるリードのオフィスへと案内する。

ニューディールプログラムでは単に仕事に就かせるだけではなく、仕事が継続できるようにすることを目的としている。そのためにキャリア開発が欠かせない。経験の浅い人が少なくないことから、職業資格NVQの五段階で「やっと一人前」のレベル2の取得を目指す。職業訓練は大学などの教育機関に委託することもあるが、職場で試験的に働かせて、仕事への適性や職場での適応力、本人の意思を確認しながら行うこともある。訓練終了後は、どこへ就職するのか、働きたい職場について両者が合意できるまで徹底的に話し合う。短時間の面談では、求職者の資質を判断することが難しいからだという。

また、雇用創出への取り組みも行われている。地元自治体などと組んで夜間の通勤手段を確保し、空港関係の仕事で百五十名の雇用機会を生み出した「ランナウェイプロジェクト」がその代表例だ。

04.これ、何だかわかりますか？

Kiosk



色や形は違うけど、各州の空港やショッピングモールにもあります

日本の古いポストと少し形や大きさは似ているが、これはワンストップ・キャリアセンターが設置している職業のインフォメーションセンター「キオスク」だ。州によって色や形状は異なるが、空港やショッピングモール、ワンストップ・キャリアセンターなどの一角におかれているので、目にしたことがある人もいられるかも知れない。

カリフォルニア州には四十一のキオスクが設置されており、誰でも触れることが可能だ。失業者など、自宅でインターネットの職業情報を見ることができない人のためのサービスである。

使い方は簡単だ。パソコンやキーボードに慣れていない人のためにタッチパネル式になっており、キャリアに関する様々な情報と求人情報を見ることができているので、外出先で見たホットな求人情報をプリントアウトして自宅に持ち帰ることも可能だ。

操作性は悪くないが、タッチパネルのディスプレイが体と平行であるため使い勝手が良いとはいえないし、背の高い人は中腰で見ることになるので、長時間の使用には向かないようだ。

05. 事件は現場で起きている？

Mobile



<http://mobileforce.tela.com>

この巨大な紫色のトレーラーバス、中身は立派なキャリアセンターです

航空会社で大量のレイオフ発生！
出勤します。

嘘のような本当の話である。実際に企業でレイオフが起こったときに、このバールのモービルが駆けつけて、企業の敷地内で再就職の支援を行う。

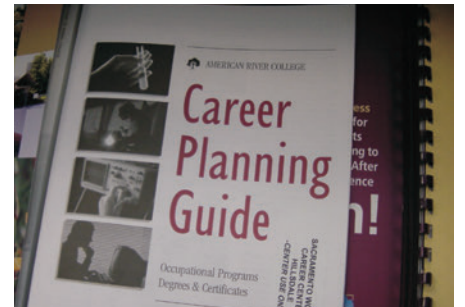
カリフォルニア州のワンストップ・キャリアセンターは四百三十九カ所あるが、若年者など特定の失業者を対象としたもの、看護婦・IT・コンピュータ通信・販売・フード関係など、地域の産業構造に根ざした職業訓練や職業紹介を目的としたもの、キオスク、そしてこのモービルがある。

二〇〇一年秋にミネソタ州で大手航空会社による大量解雇があり、連邦労働省とミネソタ州再就職支援チームが導入したのが最初である。

モービルの内部は普通のワンストップ・キャリアセンターと同じ求人情報が見られる情報端末が設置され、カウンセラーが乗り込む。まさしく移動キャリアセンターだ。人口の少ない町や学校などにも移動することができるほか、企業への貸し出しも行っている。

06.ガイドツアー付きです

One Stop Career Center Sacramento works / NOVA / Job Connection



サービス精神に溢れています

カリフォルニア州サクラメント市にあるサクラメント・ワークス・キャリアセンター。カリフォルニアの陽気のせいなのか、職員のカジュアルな服装のせいなのか、職探しも明るい気持ちになるのはなぜだろうか。

ワンストップ・キャリアセンターをツアーして気がついたことは、オリジナリティである。ワンストップ・キャリアセンターは一九九八年頃から失業給付、職業紹介、職業教育を行う現在の形態に移行されたが、スタートとともに各州がバラバラに運営を始めたため、連邦政府が調整に入り、オレゴン、ワシントン、ノースカロライナ、ミシガン、マサチューセッツ、コロラドの六州に限定してフィジビリティを行っている。公共・民間・非営利と、それぞれ違う形式の運営をさせた結果の分析は二〇〇四年にまとまる予定だという。

カリフォルニアでも運営する団体はそれぞれ異なっているが主なサービスは大体同じである。はじめに受付で用紙を記入すると、利用カードが発行される。これは利用状況をデータ管理するために作られたものだ。次はセンター内の利用案内を兼ねたツアーで、ひととりのサービスを知ることが出来る。キャリアガイダンスが行われ、コンピュータを利用した適職診断を実施する。次はレジユメの作成だ。自分で作成出来ない場合はスタッフがサポートする。パソコンなど簡単な教育はセンター内で実施する。

求人情報は設置されているパソコンで連邦労働省や州政府の求人サイトから収集するが、人気の高い民間のジョブボードへもアクセスできるようにしており、比較的自由度が高いようだ。最新の求人は壁にポップと一緒に貼られている。その地域にホームセンターを出店するなど、大量の求人がある場合には、企業が会議室を使って説明会や面接を実施する。民間の人材紹介会社や派遣会社が足を運んで募集を行うこともあるという。



1



2



3



4



5



6



7



8



9

1 適性検査はパソコンを利用するが、質問に沿って「YES」「NO」の回答をマウスでドラッグするだけのいたって簡単なものである。結果はすぐにプリントアウトされる。

2 就職が決まると、お祝いに「チョコバー」がプレゼントされる。記念撮影をして卒業。おめでとう。

3 キーボードでタイピングのレッスン。センターにおかれているパソコンにはすべてソフトがインストールされており、誰でも利用可能だ。

4 キャリアカウンセラーと一緒にレジューメを作成。

5 カウンセラーの経歴も多彩だ。元会計士、弁護士、企業経営者といったベテランが再就職を支援する。

6 インキュベーションルームは開業するための準備室として利用可能。他人にビジネスプランが漏れないようにパソコンにはシールドがかかっている。

7 二十種類を超える職種別の開業ノウハウをまとめたガイドもオリジナルだ。手にしているのはウエディング・プランナーとして開業するガイドで一連の工程や成功のコツが書かれている。

8 ブティックではありません。面接用に着て行く服も貸し出している。これはすべて寄付されたもの。

9 服だけではなく、靴やバッグなどの小物も用意されている。

ほかのキャリアセンターもいくつか行ってみました

3 専門職・管理職コーナー

シリコンバレーにはIT系の求人が多いため設置された



2 キャリアコーナー

落ち着いて職業情報に触れることができる



1 シリコンバレーのNOVA

サンタクララ郡の7つの雇用訓練プログラムを統括する連合組織



6 託児コーナーあり

スタッフの目の届く場所に設置され、安心して職探しができる



5 COOL JOB!

最新の求人情報が壁に貼り出される



4 ナパのキャリアセンター

受付では利用カードを発行。利用統計をとっている



9 便箋と封筒、切手も

パソコンでレジュメを作成、便箋にプリントアウトすればすぐに応募できる



8 障害者向けのパソコン

机や椅子の高さが変えられる、音声入力や画像にはテロップが付くなどの配慮あり



7 ソーシャルワーカーのブース

生活面でも問題を抱えている求職者を総合的にフォローする



07. 若者は若者同士！

Youth One Stop Career Center



ショッピングモールに普通のお店と並んで入っています

カリフォルニア州サニーベール市にあるNOVAユース・エンプロイメント・オフィスは、ショッピングモールに他の店舗と並んで入っている。モールには地元若者が多く集まり気軽に立ち寄れるため、立地としては申し分ない。

対象者は十四歳から二十四歳までの若年者で、毎日二、三百人の来訪者があるという。ここでのサービスは、キャリア教育と職業訓練で、雇用されるための能力を高めることが目的だ。また、若年向けのYOUTH@WORKというインターネットを中心とした情報提供などが行われる。

また、レジユメの作成や面接のためのワークショップが定期的開催されるほか、スタッフが地元高校へ出向き、雇用に関する講義やランチの時間を利用したPR活動なども行っている。

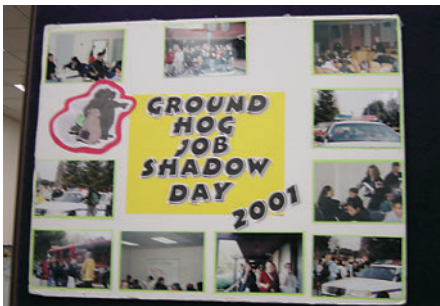
キャリアアドバイザーは四名。いずれも地元の大学を卒業した二十代の若者だ。だから、求職者にもフレンドリーに対応している。はじめに、希望する職業に就くためには、何を実行すべきかを考えさせるなど、一年程度の中期目標を決める。そのために大学やコミュニティ・カレッジへ入学する、というのも重要な選択肢となる。このようにして、自分のキャリアに関する計画を具体化していく。

就職を希望する者は、就職活動に関するワークショップへの参加を義務づける。アルバイトやインターンシップ、ジョブシヤドウイングという一日の見習い制度など、若年のあらゆる求人ニーズに対応できるようにと努力している。求職者の状況によってはパスのブライドカードや、ガソリン代、洋服の購入を支援することもあるという。

ここで紹介される仕事は、小売、飲食店、事務など主にエントリーレベルの簡単な仕事を中心だ。

Plus お気に入りのしごとを探せ!

Job Shadowing



影(シャドウ)となって社員のあとをびったり追跡します

アメリカでは毎年二月二日に、自分の興味のある職業に就いている人に影のように密着して、その仕事を観察する「ジョブシャドウイングデー」という職業教育プログラムを実施している。これまでに参加した学生は四百万人を超える。キャラクターは「グラウンド・ホッグ」だ。

目的はすべての学生が高等教育への進学や就職をスムーズに選択できるよう、必要な学力やスキル、労働に関する情報に接すること。標準ルールや運営方法は全体を統括している全米ジョブシャドウ連合が作成するが、実際のプログラムや運営は、各州や地域、受け入れ企業などの事情に合わせて柔軟に対応している。

州の産業構造などを考慮し、将来的に人材不足が想定される業種は、子供のうちから興味を持ってもらえるように、重点的に支援する場合もある。試行錯誤を繰り返しながらも徐々に浸透しているようだ。全国的にチェーンを持つ大手ファストフードやホームセンターなどが実施したことによる波及効果も大きい。

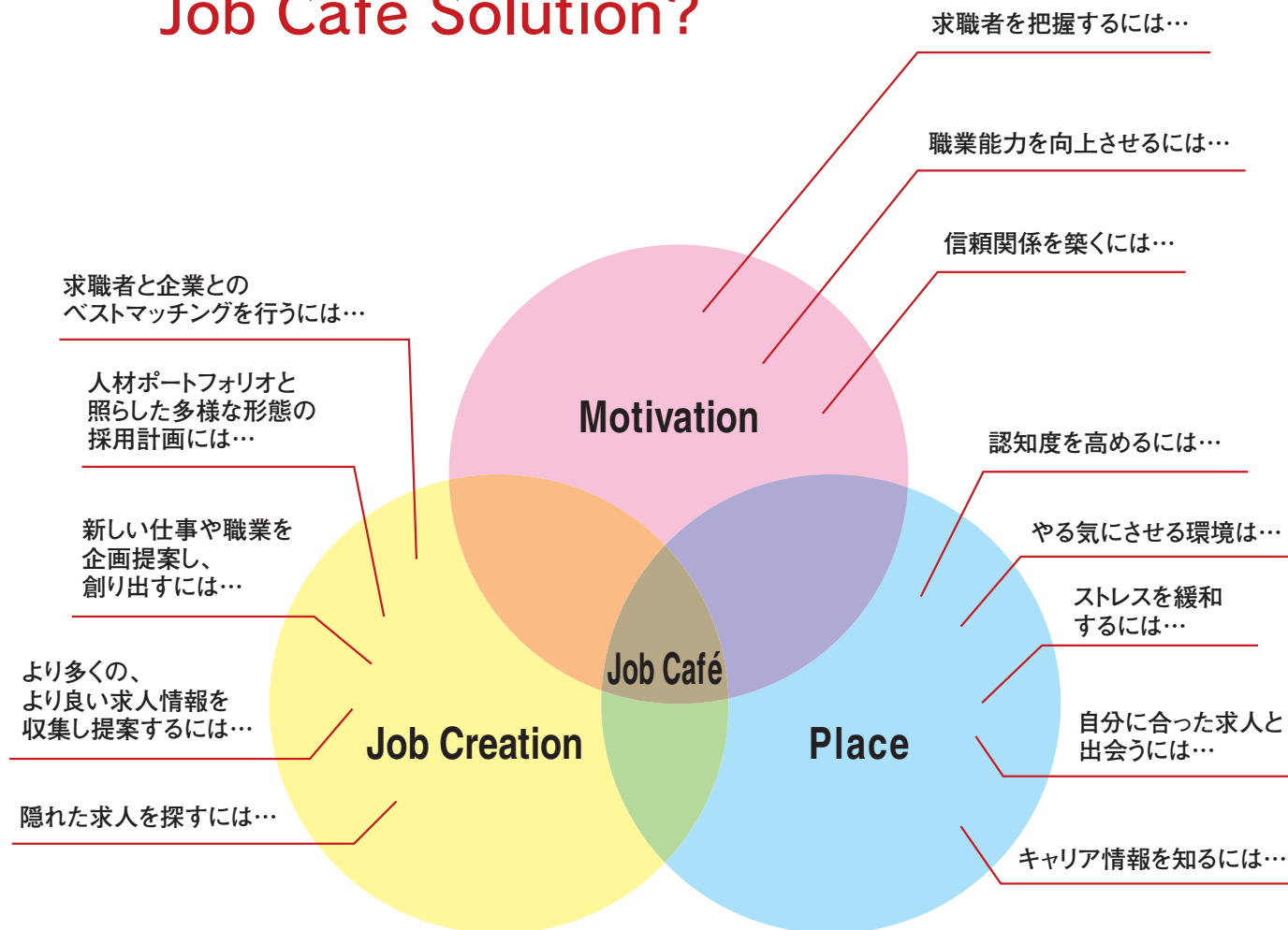
小学校高学年から高校生まで、対象によって実際のシャドウイングのプログラムや方法は異なる。州によっては学生だけでなく、ユース・ワンストップセンターがジョブシャドウイングを企画・仲介することもある。NOVAでも毎年実施しており、実施効果は高い。数年間の様子を写真でオフィス内の壁に掲示している。

連邦労働省のキャリアサイトにも詳細な職業情報はあるが、バーチャルはリアルに勝てない。ジョブシャドウは、言葉で理解しにくい職業も実際に現場や現実を見ることで、職業の理解や仕事の流れをはじめ、礼儀や職場で働くときの周囲とのチームワークなども感じとれる。取材では学生と一緒に病院の手術室でシャドウイングした。医療を学びたい生徒でも手術室を見たことがある人はほとんどいない。ハイテクな機器や周囲とのリレーションシップを熱心に観察していた。

Job Café? のつくり方

—どこまでできるか、理想のカフェづくり

Job Café Solution?



つくり方のコツ

「ジョブカフェ」をつくる。

海外の事例から見たワークス研究所が考える成功要因は三つ。

一つは、「パーソナルアドバイザーによるマンツーマンの支援」で、個人に合わせた目標設定、産業界のニーズに対応した能力開発、器材の提供、継続的な援助を行うこと。プログラムに当てはめるのではなく一人ひとりが直面している障害を取り除き、問題を解決するという姿勢だ。

二つめは、「求人開拓と職の開発」だ。顕在化した求人幅広く集めることはもちろん、雇用主に働きかけ、職業訓練と組み合わせる、通勤手段を確保するなどして雇用機会そのものを作り出す。地域の産業構造に精通し、広範なネットワークを活用していくことが重要だ。

三つめは「既存の公共サービスとの差別化」である。民間を活用する意義もここにある。オフィスデザインやマーケティング、ユーザーのニーズを踏まえたプログラムづくりなど、従来の公共サービスでは実現が難しかったサービスを、カスタマーオリエンテッドの視点で大胆に転換すべきだ。



Support Space



Self Space



Supportスペース

プロの集団との協同の場。各社の民間の人材ビジネス会社のカウンターで、プロがナビゲーション。

New14 一括登録

ここでは、①社員、②派遣、③アルバイトを選ぶと、民間の職業紹介会社、人材派遣会社の各社に一括登録が可能。新卒派遣って何？

New15 プロに相談

この会社に興味あるので、求人募集しているか、調べてもらえますか。どんな会社ですか。明日面接だけ何か情報ありますか。

New16 アセスメント

私にはどんな仕事に向いているのかな。できるのかな。何から始めたらいいのだろう。教えてください。

New17 2人3脚

自分の専属のコウンセラーに相談ののってもらって、私にぴったりの仕事を探してみよう。

New18 見習い

社会人のインターンシップや、ジョブシャドウイングを登録。この仕事向いているかどうか、とりあえず働いてみる。

New19 会社見学

どこの会社もイメージはあるけれど、具体的にビルの中ではどんな仕事があるか、見学ツアーに参加しているいろいろ見てみよう。

New20 トレーニング

営業トラの穴トレーニングって何だろう？営業ってちょっとこわいけど、求人も多いし、向いているかどうかやってみようかな。

New21 練習

履歴書や経歴書って書くのが難しい。インストラクターの言うとおりにキーボードをたたいたら、あらっ出来ちゃった。

New22 スタイル

明日面接だ。どうしよう。ネクタイはどうやって締めるのかな。何を聞かれるのかな。何を準備すればいいですか。

New23 独立開業

料理は大得意。オフィス向けにお弁当屋さんをやりたいな。会社が出来るまで相談ののってもらえますか。

Selfスペース

1人で集中する場。PCはフリーユーズで、仕事探しや職業研究。

New7 モバイル

受付カウンターで、パソコンをかりました。モバイルでどこでもインターネットができて、席も自由に選べます。

New8 集中

ゲーム世代はちょっと集中して一人でじっくりと戦略を練る。仕事探しの他に簡単なeラーニングもできます。

New9 職業研究

この仕事って、本当はこんなことやるのか。パソコンによる職業ビデオの閲覧や、仕事を説明したマンガも読めます。よくわかります。

New10 先輩研究

B商事の営業のCさんは、こんな経歴で、ジョブカフェでこんな勉強や活動をして今の会社に入ったのか。私もこんな風になれるかな。

New11 モニター

壁のモニターでは、仕事に関する映像が流れます。今日は営業職のVTR。営業にもいろいろ種類があるんだなあ。

New12 新着求人

今週の新着の求人はプロジェクトで壁に映写されている。オフィス風景や実際に働いている人たちも一目でできる。これ早い者勝ち？

New13 クローラー

情報泥棒！企業がホームページに載せている求人情報をクローラーが自動的に収集して、ジョブカフェに持ってきちゃった！不思議！

こんなカフェはいかがですか？

バーチャルカフェ Case 1 <Design>

Event Space

Eventスペース

就職講座や講演、ビデオ面接トレーニングなど。イベントは自分でもオーダー可能。

New24 イベント

今日はイベントの日。業界のトッププレイヤーの話が聞ける。明日のゲストは経済団体のA会長。明日も来てみようかな。

New25 勉強会

夜のジョブカフェは、ビジネスマンの勉強会や、講演。同窓会などにもスペースをお貸しします。

エントランス

ジョブカフェは出会いの場。新しい仕事や、人との出会いを、ホッとできる空間とともに作りだします。

New1 会員カード

受付カウンターでは、ジョブカフェ会員カードが発行されます。利用実績の管理のほかに、提携割引等で寂しいお財布を暖めます。

New2 カフェ

その名のとおり「カフェ」です。無料でコーヒーが飲めて、じっくりとキャリア研究や、仕事探しができます。

New3 マスター

「カフェ」のマスターもちろんカウンセラー。カフェの顔です。就職相談以外にも人生相談にものってもらえます。

New4 グッズ

今日始めて来ました。ジョブカフェバッグとグッズなどをもらって、求人情報と就職説明会、イベント告知のメール登録をした。

New5 HP登録

ジョブカフェサイトに自分のキャリアを登録しておこう。個人のホームページも開設できる。何事も勉強。自分でHP作ってみよう。

New6 OB/OG

フリータイムはカフェを開放。学生も、現役ビジネスマンも、たまには自分の会社や仕事の話などナマの話聞いてみたいですか。

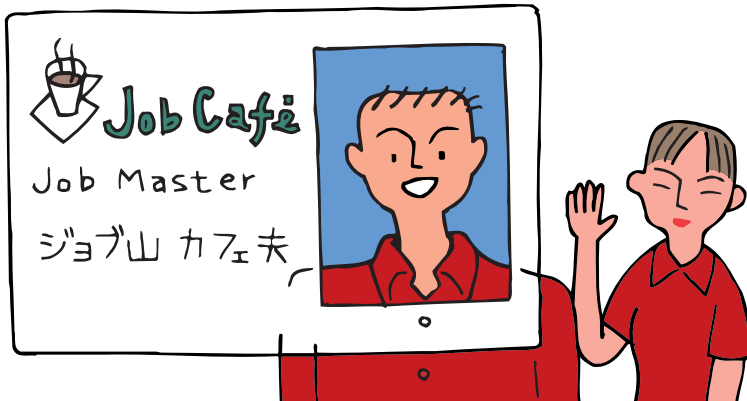


Welcome!

Entrance

A Job Master

ジョブマスターはジョブカフェの責任者であるとともに、
職に精通したプロフェッショナル



< Scene >

B Job Club

マンツーマンだけでなく、グループでのカウンセリングや
キャリア支援できます



C Job Cafe Online

キャリア情報、求人情報に加えて、民間職業
紹介・派遣会社への一括登録が可能



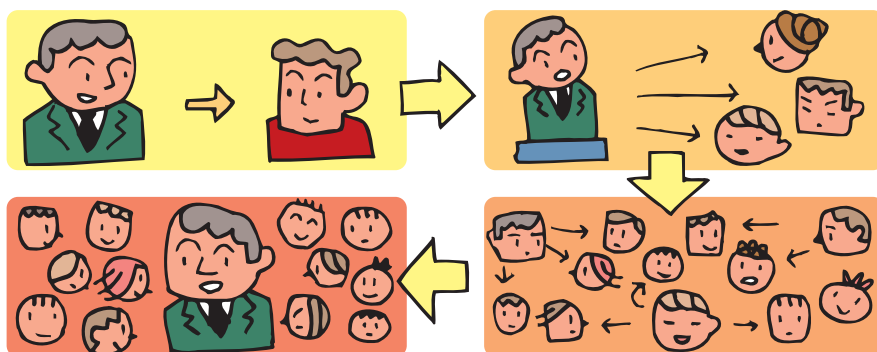
D キャリアカウンセラー

誰もおじさんのお説教を聞きたいとは思いません



E Net Working

ユーザーがユーザーを呼ぶ



F Starter Kit

ジョブカフェ利用カード、就職活動スケジュール帳、バッグ、ペンなどがもらえます



HOME 家

ショッピングモール

- 平日の夜や休日に人が集まる
ショッピングモール
気軽に入りやすい場所にジョブカフェ
をつくる

Job Café

SHOPPING MALL

SHOPPING STREET

会社

OFFICE

Job café in Shopping Mall

Job café

Job café on the Shopping street

welcome to Job café

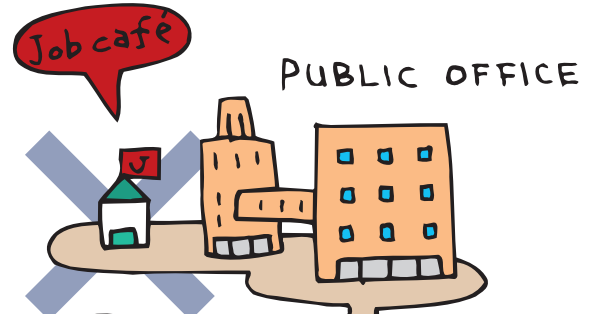
バーチャルカフェ Case 2 <Place>

鉄則

- 若者の生活動線をよく考える
- 行き慣れない官庁街や、どこにあるかわからないような場所にはつぐらない
- 自分たちが足を運ぶことも考えてみる

官庁

- 官庁街のジョブカフェはなかなか行きにくいものです



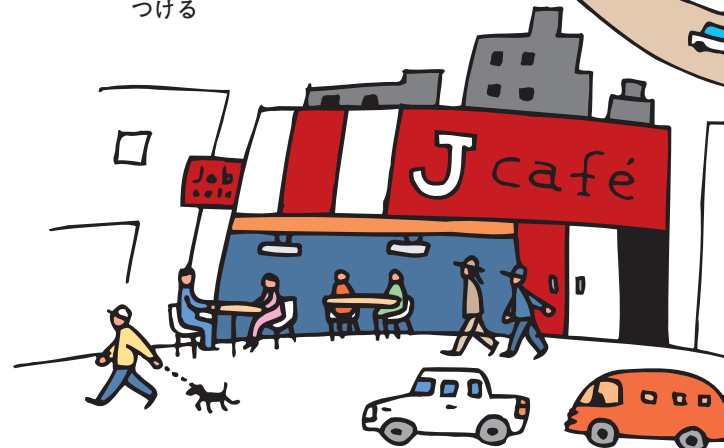
SCHOOL



Job café Trailer

商店街

- 若者が集まりやすい通りや通勤通学の途中、駅の周辺などに建物やサインボードにも特徴をつける



学校

- 学校ではトレーラー型のジョブカフェをオープン

Job Café?

1



株式会社リクルート ワークス研究所
e-mail:hiromimm@r.recruit.co.jp

〒104-8001

東京都中央区銀座8-4-17

03-3575-5463

<http://www.works-i.com/>

企画・制作・文・photo
村田弘美

●

表紙・デザイン
林デザイン事務所

●

印刷

神谷印刷株式会社

本書の全部または一部の複写・複製・転載および
磁気または光記録媒体への入力等を禁じます。
これらの許諾については小社までご照会ください。
© 2004 Recruit Co.,Ltd. All Right Reserved